

# 北九州市民の会ニュース

## 北九州憲法集会が行われました！



【講演を行う田島康彦上智大学教授】

5月3日の憲法記念日に小倉北区のムーブで憲法集会が行われました。今年は「戦争する国はイヤっちゃ～秘密保護法は国民・人権を反故にする～」というテーマで、上智大学文学部新聞学科教授の田島康彦さんをお呼びして秘密保護法を中心に講演を行いました。秘密保護法に関して、田島さんは去年の衆議院の参考人として呼ばれ、危険性などについて反対の意見を出しています。

昨年12月に秘密保護法が可決され、これからの日本がどうなっていくのかということに関心が高まっており、当日は330人の参加者が耳を傾けました。

特に、田島教授の専門であるメディアに関して、NHKの会長の問題や安倍首相とメディアとの関係など内容の濃い話も行われました。

集会では、僧侶でシンガーソングライターの鈴木君代さんによるライブも最後に行われました。心にしみわたるような歌声で戦争は反対、平和を愛する内容を歌いました。

最近では集団的自衛権の行使など、憲法を無視するような動きが激しくなっており、憲法を守らせる、戦争はしないと声でこの暴走を止めましょう！

## 9条まつりが行われました！

5月3日、憲法集会の開催の前に勝山公園にて9条まつりが行われ、晴天の中、230名が参加しました。今年で4回目となる9条まつりは、普段触れることの少ない憲法について、憲法記念日の日に気軽に楽しく憲法にかかわろうということコンセプトに毎年、参加者が増えています。



【盛り上がりを見せた北九大生による大道芸】

今年は、出店やうたごえ、鈴木君代さんのライブ、大声大会、北九大生による大道芸など楽しい内容が満載の9条まつりとなりました。必ず賞品のもらえる憲法前文クイズなども行われました。

特に、メインの大声大会では、弁護士事務所から景品が設けられ、賞の受賞者に送られるもので、今年の大賞は、「安倍ゴートゥーベッド」これは朝の連続TV番組「花子とアン」の主人公花子が寄宿する女学校の外国人の校長に校則に違反したら言われるご飯抜き「謹慎」の意味。憲法を無視し続ける安倍首相への怒りを表現しました。

最後には憲法前文を会場の参加者で斉唱し、9条まつりは終わりました。これからも、憲法を守るための運動を活発にしていきたいと思います。

平和とくらしを守る北九州市民の会  
〒803-0817 小倉北区田町13-21 田町ビル3F  
TEL093-592-5000 FAX093-571-4346  
<http://siminnokai.sakura.ne.jp>  
e-mail;koe@siminnokai.com

# 北九州市民の会ニュース

## 北九州市社保協 第19回総会を開催

北九州市社保協は、5月10日、小倉北区大手町の健和会地域交流センターで第19回総会を開きました。はじめに県社保協の岡崎次長が「北九州市の社会保障改善のおもな成果と今後の課題」と題して講演。市政の現状にしっかり目を向けながら、当面の「医療・介護総合推進法」の内容をしっかりと捉え、撤回を求める取り組みを広げようと訴え。次いで、活動報告・決算・予算・2014年度方針を確認したあと、高木健康会長他2014年度の役員を選出しました。

北九州市社保協では、この間、生活保護・国保・介護の3つの課題で連絡会（部会）を定例開催して、行政への申し入れ、懇談など継続した取り組みをすすめてきました。また、八幡東・小倉など、行政区に対応した社保協づくりと入会呼びかけにも取り組み、会員（個人・団体）も新規加入が続いています。



【第19回総会の様子】

## 八幡市民会館・図書館を守ろう

### 署名にご協力ください

北九州市は、2015年度に八幡図書館は解体し機能を移転する、市民会館は機能を廃止し用途を協議すると発表しました。これに対して多くのみなさんから、「そのまま残してほしい」という声が上げがっています。

私たちは八幡市民会館と八幡図書館を存続させ、その中で充実・改修するよう求めます。陳情書名に、ぜひともご協力ください。

## 市民会館

**文化創造の拠点——音響など専門家も賞賛  
約50の団体が活用する「庶民の美術館」**

市民会館の大ホールは、年間約50%の稼働率で7万人が利用し、合唱団や吹奏楽、邦楽、カラオケ大会など幅広い方々が利用しています。音響のすばらしさ、観客への配慮がきわだった、専門家も賞賛するホールです。

工芸室や染色教室は23を超えるクラブが毎日のように活動しています。また美術展示室は、「庶民の美術館」として、約25団体が年間を通して利用し、まさに文化創造の拠点、発信地となっています。

## 図書館

**年間利用15万人の基幹図書館**

**学校・家庭・地域教育にも貢献**

八幡図書館は、年間15万人が利用（区民は7万人）し、蔵書21万冊以上、貸し出し22万冊以上、貸し出し6万人程度など大いに利用されています。40年以上続く読書会もあり、市民の文化的・精神的生活のよりどころとなっています。

また子供向けの絵本朗読会、学校図書活動への情報提供、ひまわり文庫への配本サービス、講師派遣など基幹図書館として学校・家庭・地域教育の向上にも大きな役割を果たしています。

署名を集めていただいた方は、恐れ入りますが下記の連絡先にご連絡か、最寄りの関係者にお届けください。

八幡市民会館と八幡図書館の存続問題を考える会  
代表三崎英二 八幡東区小倉3丁目3-22  
電話093-662-5120

（八幡市民会館と八幡図書館の問題を考える会チラシから抜粋）